

愛知大学 3つのポリシー (2021~2023年度)

■短期大学部 ライフデザイン総合学科

教育研究上の目的
短期大学部学則第1条(目的) 愛知大学短期大学部は、教育基本法及び学校教育法並びに本学の設立趣意書に基づき、専門の学芸を教授研究し、教養を培い、豊かな人間性を涵養することを目的とする。
短期大学部学則第2条の2 前条の学科における教育研究上の目的は、第1条に基づき、教員個々が自発的にその専門とする分野の学識、技能を高め、それらを次の各号に掲げるとおり、教育及び社会に還元することにある。 (1) 自分らしい生き方や職業について主体的に考え、自分らしさを表現し、自分の考える自らの将来像の具現化を図ることのできる能力や教養を養成する。 (2) 日本と国際社会を基盤に自らの文化や生活を見つめ、人とコミュニケーションのできる個性や能力を養成する。 (3) 健康で自立的な社会人・職業人やライフデザインについて理解を深め、受動的な消費生活からの脱却をめざす意識や実行力を養成する。 (4) 生涯にわたって学ぶことの意義や豊かさを自覚しつづけられる意識を養成する。これを通じて、地域文化やコミュニティの向上発展をめざした生涯学習社会の実現に貢献する。
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)
短期大学部では、全学共通および短期大学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計62単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導および審査を行います。また、2年間を通じて、次の能力を身につけることを求めます。 (1) 自分らしい生き方や職業について主体的に考え、自らの将来像の実現を図ろうとする能力。 (2) 日本と国際社会を基盤に自らの文化・生活を見つめ、人とコミュニケーションできる能力。 (3) 自立した女性としてのライフデザインについて理解を深め、社会に起きる様々な問題を思考できる能力。 (4) 生涯にわたって学ぶことの意義を自覚し、地域社会の向上発展に貢献できる能力。 各ゼミで開かれる「卒業研究」は必修で、自ら関心の高いテーマを設定し、その成果の主題設定能力、問題分析能力、問題提起能力、プレゼンテーション能力、表現力を審査します。
教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)
短期大学部では、特定の分野に限定せず、学生のニーズに柔軟に対応した多彩な授業科目に触れる中で徐々に自分の将来を決定していける自立した女性の養成をめざしています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 全員に共通する科目 ○ベーシックフィールド科目 ゼミナールエリアは少人数で口頭発表や議論を行い、レポートや論文作成へ発展させていく科目群です。 基幹エリアは、大学における学習・研究に必要な基礎的能力を養成することを主たる目的とする科目群です。 教養エリアは多様な科目構成により、学生の学習・研究を各自の目的にもとづいた選択によって発展、展開する科目群であり、学期、年次を通じて履修することになります。 外国語エリアは英語、中国語、ドイツ語、フランス語から構成され、外国語の運用能力を高め、異文化理解を促進する科目群です。 (2) 専門の科目 ○セレクトフィールド科目 専門専攻領域に関する科目群です。セレクトフィールドは日本文化、英語コミュニケーション、オフィス、情報、心理・社会の5エリアで構成され、それぞれのエリアに、より豊かで専門的な知識を身につける科目が配置されています。5エリアのうち、主たるエリアを各自で選択します。 (3) その他の科目 ○特別フィールド科目 海外セミナー、資格取得など、正課カリキュラム以外の学びを柔軟にサポートし、特別フィールド科目として認定します。
入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)
短期大学部では、カリキュラムに示す各分野の学識を高めることを通して、主体的に自らのライフデザインを描けるようにすること、さらにはその技能を社会に還元する力を育成することを教育目標としています。 本短期大学部は、高等学校卒業までにさまざまな科目を広く学び基礎学力を身につけた女性で、次のような学生に広く門戸を開放しています。 (1) 豊かな教養を求め、自国のことばや文化に関心の高い人。 (2) 英語をはじめとする外国語の習得に強い意欲をもち、異文化理解に興味のある人。

愛知大学 3つのポリシー (2021~2023年度)

- (3) 社会人・職業人になることを積極的に考え、それに向かって努力できる人。
- (4) 人と人、人と社会の関係などに問題意識をもち、自ら成長したいと思っている人。
- (5) 高校時代までにサークル活動、ボランティア活動等に熱中したことがあり、その経験を語る人。

いずれの入試においても基礎学力を有することを求めますが、推薦入試に関しては、豊かな経験を持つ学生に門戸を開いています。キャリアデザイン特別入試における小論文は、キャリア形成のための取組み、働くことの意味やその目的など、あわせて論理的思考力、的確な主張、文章の表現力などを問います。社会人入試については、社会人としての豊かな経験に基づく学習意欲を問います。外国人留学生については、日本語による会話・コミュニケーション能力などを重視します。